

堀内・城下町・平安古地区ゆかりの幕末の志士・藩士たちにまつわるストーリー

江戸期



19 村田清風 (1783~1855)

維新の礎・村田清風の天保の改革

村田清風は、天保年間に藩の財政改革を進めました。また防長四白(米・塩・紙・蠟)による産業の振興や教育改革などに貢献し、その後の坪井九右衛門・周布政之助らの改革に大きな影響を残しました。

ポイント

萩藩での天保の改革は？

13代藩主毛利敬親に起用された村田清風が中心になって天保11年(1840)ごろから行った藩政改革。人材の登用、藩財政の開示と赤字財政の克服、藩外資金の増収、軍事力の強化、明倫館の拡充などを行いました。

志半ばで散った志士・藩士たち



18 久坂玄瑞 (1840~1864)

松山村塾の双壁 久坂玄瑞

久坂玄瑞は、吉田松陰から「天下の英才」と絶賛され、その妹と結婚しました。松陰没後はその遺志を受け継ぎ、尊王攘夷運動を推進し攘夷の急先鋒として活動。京都を追放された長州尊攘派の失地回復を目指して奔走するも、禁門の変に敗れ自刃しました。

ポイント

禁門の変とは？

元治元年(1864)7月19日、長州藩と会津藩・薩摩藩の間で起きた戦闘。蛤御門の変ともいいます。尊王攘夷を主張し朝廷に支配的影響力を有していた長州藩は、文久3年(1863)8月18日の政変で京都から追われたため、一部の過激派が実行行使で巻き返しを図ろうとしていました。

幕末期



27 高杉晋作 (1839~1867)

幕末の風雲児 高杉晋作

高杉晋作は、久坂玄瑞と並び「松門の竜虎・双壁」と称され、欧米列強に支配された上海視察で衝撃を受け、日本の危機を救おうと使命感を燃やしました。奇兵隊を結成し拳兵、内戦を経て幕府軍撃退の指揮を小倉口で執るも、結核に倒れ下関で病死しました。

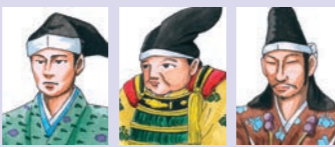
ポイント

奇兵隊とは？

文久3年(1863)6月、農民など身分を問わず志のある者なら誰でも入れる軍隊として晋作が結成。下関防衛を目的として結成されましたが、長州藩の方針が攘夷から倒幕へと移ることに従い、外国軍から幕府軍へと戦う相手も変わっていききました。

長州藩・三家老の悲劇

禁門の変により、長州藩は「朝敵」つまり天皇に背く敵となり、天皇は幕府に長州征討を命じます。一方、長州藩では尊攘改革派が失脚し、棕梨藤太ら保守派が実権を握り、幕府に恭順します。保守派は、禁門の変の責任者として益田右衛門介(親胤)・福原越後(元簡)・国司信濃(親相)の三家老を切腹させ、その首を幕府へ差し出して謝罪しました。堀内地区には犠牲となった三家老の屋敷跡が点在しています。



7 国司信濃 (1842~1864) 3 益田右衛門介 (1833~1864) 8 福原越後 (1815~1864)



23 桂小五郎 (木戸孝允) (1833~1877)

松陰門下の兄貴分 桂小五郎(木戸孝允)

桂小五郎は、藩校明倫館で吉田松陰に兵学を学び、京都で尊王攘夷運動に奔走するも、禁門の変後は但馬国出石(兵庫県豊岡市)に潜伏。慶応2年(1866)、長州藩を代表して薩長同盟を締結、さらに版籍奉還や廃藩置県などを推進し、中央集権国家の樹立に貢献しました。

ポイント

薩長同盟とは？

藩の実権を握った木戸孝允が慶応2年(1866)1月、坂本龍馬の仲介により京都で西郷隆盛と薩長同盟を結び、幕府への対抗を目指すようになりました。

明治維新後の長州人の活躍

明治期



楯取素彦 (1829~1912)



山県有朋 (1838~1922)

明治4年(1871)、新政府は地方制度を改め、藩を廃止して県を置き、各県には県令(現在の県知事)を、東京・大阪・京都には府知事を置きました。その際には、楯取素彦や杉孫七郎など藩校明倫館などで学んだ長州出身者が県令に就きました。また、明治18年(1885)、内閣制度ができる、伊藤博文ほか山県有朋や桂太郎、田中義一などが総理大臣や各大臣に就任しました。



杉孫七郎 (1835~1920)



桂 太郎 (1847~1913)



伊藤博文 (1841~1909)



田中義一 (1864~1929)

町並みに表れる時代の流れを感じてみよう！

- 時代を伝える石垣

城下の石垣を見ると、石の加工や積み方の違いから時代の重なりを知ることができます。きれいに整えられた下の段は江戸期のもので、乱雑に積まれた上の段は明治期のものと考えられます。
- 土堀と夏みかん

武家屋敷を夏みかん畑に変えたことで、その周囲にあった土堀は、夏みかんの風除けとして有効活用されました。土堀の上からのぞく夏みかんの風景は萩独特の景観です。マップにポイント掲載しています。

- 幕末の志士も眺めていた美しい風景
 - 橋本川河畔の風景

橋本川沿いには大きな松の並木があり、美しい河畔の風景を作っています。今も川沿いには川を眺める別荘の形の屋敷が所々に残っていて、萩八景遊覧船では橋本川からこれらを眺める事ができます。
 - 菊ヶ浜の風景

菊ヶ浜からは、美しい夕焼けや漁火の夕景を眺めることができます。菊ヶ浜から見える島々は「萩六島」と呼ばれ、火山噴火でできた溶岩台地の島です。平らな溶岩台地は世界的にも貴重な景観です。

維新の礎となる人材を育成した藩校・明倫館

旧萩藩校明倫館跡(堀内)

藩校明倫館は5代藩主毛利吉元により、享保4年(1719)萩城三の丸(堀内)に創設されました。



旧萩藩校明倫館(江向)

13代藩主毛利敬親により、文武奨励を目的に嘉永2年(1849)に萩城下の中央に移転・拡充されました。吉田松陰は、両方で兵学を教えていました。その後、松陰は松山村塾で志士として活躍する多くの若者たちを指導します。



武士を救った夏みかんストーリー

小幡高政は、幕末期には萩町奉行、江戸、大阪の留守居役などを歴任。安政6年には吉田松陰への死罪宣告にも立ち会い、四境戦争では芸州口に出陣しました。明治維新後は禄を失い生活に苦しむ士族の救済のため武家屋敷地での夏みかんの栽培に着手、耐久社を設立し、産業化に成功。萩を代表する名産品に育てあげました。



15 小幡高政 (1817~1906)

夏みかん栽培発祥を伝える橙園の記

高政は、自邸(現在の旧中別邸)が夏みかん栽培発祥の地であることを後世に伝えるため、明治23年(1890)に「橙園の記」の碑を建て、次のように記しました。

「夏みかん畑は、明治9年(1876)この場所に初めて開かれました。その後繁殖して14年後の今日では、この畑の夏みかんは五百本余りになりました。最初は皆、私(小幡)が率先して夏みかんを栽培するのを疑いの目でみたり、あざ笑ったりしました。しかし、今日、夏みかんの栽培が盛んになるにつれ、そのような人々も、少しの空き地があれば、夏みかんを栽培するようになりました。こうして、夏みかんは萩の名産となり、全国の人々に好まれ、評判の果実となりました」

小幡高政旧宅地(旧中別邸)にある橙園の記

施設のご案内



萩博物館

住 所：山口県萩市堀内355
TEL：0838-25-6447 時 間：9:00~17:00
料 金：大人 510円、高・大学生 310円、小・中学生 100円
※NPO萩まちじゅう博物館による無料館内ガイドあり
休館日：なし(6月、1~2月に臨時休館日あり)



萩・明倫学舎

住 所：山口県萩市江向602
TEL：0838-21-0304
時 間：9:00~17:00 カフェ 11:00~17:00
レストラン 11:00~15:00、18:00~21:00
※夜は予約のみ
料 金：本館 無料/2号館 大人 300円、高校生 200円、小・中学生 100円
休館日：なし



山口県立萩美術館・浦上記念館

住 所：山口県萩市平安古町586-1
TEL：0838-24-2400
時 間：9:00~17:00
料 金：大人 300円、学生 200円
特別展示は別途観覧料が必要
休館日：月曜日、年末年始、展示替え期間



菊屋家住宅

住 所：山口県萩市呉服町1-1
TEL：0838-25-8282
時 間：8:30~17:30
料 金：大人 600円、中・高校生 300円、小学生 200円
休館日：12/31



熊谷美術館

住 所：山口県萩市今魚店町47
TEL：0838-25-5535
時 間：9:00~16:00
料 金：大人 700円、小人 400円
休館日：月・水・金曜日(祝祭日は開館)、年末年始



平安古かいまがり交流館

住 所：山口県萩市平安古町145-1
TEL：0838-25-5185
時 間：9:00~17:00
料 金：無料
休館日：毎週水曜日、年末年始

堀内・平安古・城下町地区の季節暦

春 ●萩八景遊覧船連航期間(3月11日) ●萩観光シーズン(開き萩城跡指月公園2月上旬)

夏 ●萩・日本海大花火大会(8月1日海開き(7月中旬)) ●萩オーブンガーデン(5月第2週~3週) ●萩夏みかんまつり(旧中別邸・5月中旬) ●萩大茶会(萩城跡指月公園ほか5月3日、4日) ●夏みかんの花・開花(5月上旬~中旬) ●お花見(3月末~4月) ●萩城下の古き雑たち(旧久保田家住宅、旧羽家住宅、旧中別邸ほか2月3日~4月3日) ●萩八景遊覧船連航期間(3月11日)

秋 ●萩・竹灯路物語 ●着物ウィーク in 萩 ●萩・天神祭り(萩時代まつり) ●平安古備組大名行列(11月第2日曜日)

冬 ●萩城下町マラソン(12月第2日曜日) ●夏みかんの実の色付き(12月)

ガイドのご案内

NPO萩観光ガイド協会(城下町古地図コース他) 受付時間/9:00~17:00 申込/TEL 0838-25-3527 ※3日前までに要予約

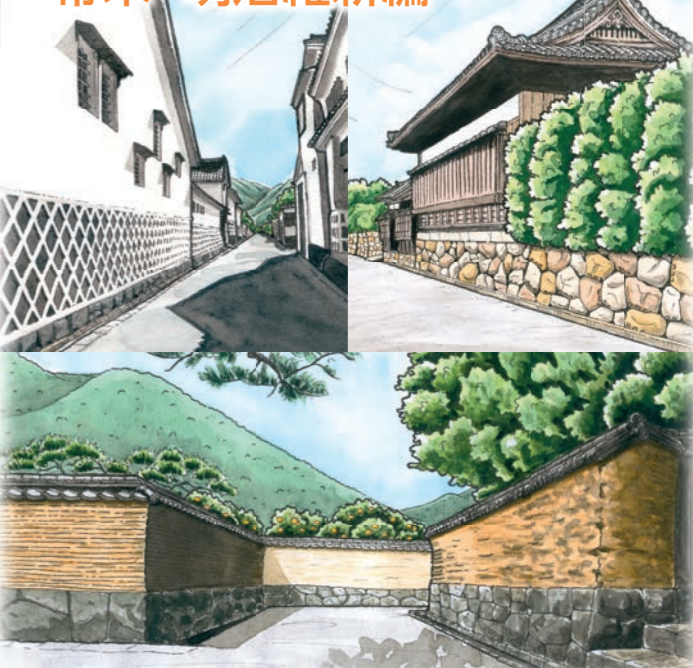
(一社)萩市観光協会 受付時間/9:00~17:45 申込/TEL 0838-25-1750 ※要事前予約

NPO萩まちじゅう博物館(堀内古地図コース他) 受付時間/9:00~17:00 申込/TEL 0838-25-3177 ※3日前までに要予約

萩まちあるきマップ

堀内・平安古・城下町地区

おたからマップ ~幕末・明治維新編~



~維新の志士が往来した風景を今も残す町並み~

堀内は萩城三の丸にあたる上級武家地で、町筋に沿って長い土堀、石垣や長屋門が残っています。外堀の周囲に位置する平安古・城下町は中下級武士・町人が住み、御成道には豪商が軒を連ねていました。町筋は碁盤目状に画され、なまこ壁の土蔵や土堀、志士の旧宅などが残っており、江戸時代の面影をよくとどめています。特に、堀内と城下町に萩城跡を加えたエリアは幕末に西欧の技術を取り入れ、産業化を目指した当時の地域社会の姿をよくあらわしていることから、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の1つ「萩城下町」として、世界遺産に登録されました。幕末から明治維新の激動の時代、志士たちも駆け抜けた町並みをたどってみませんか。



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!! machihaku.city.hagi.lg.jp/db/

※1写真：春風文庫蔵、※2肖像画：群馬県立歴史博物館蔵、その他の肖像写真：萩博物館蔵

編集発行 萩まちじゅう博物館推進委員会堀内内部会 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)

文化庁 AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

Hagi Machijyu Hakubutukan 萩まちじゅう博物館

幕末期の 上級武家地を巡る

- 1 旧大野毛利家萩屋敷 隅矢倉(萩博物館)
 - 2 北の総門
 - 3 旧益田家物見矢倉
 - 4 旧繁沢家長屋門
 - 5 旧周布家長屋門
 - 6 問田益田氏旧宅土塀
 - 7 国司信濃(親相)旧宅地
 - 8 旧福原家萩屋敷門
 - 9 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋
- もうちょっと足をのばして
- 10 萩城跡(二の丸の銃眼土塀)
 - 11 天樹院墓所
 - 12 口羽家住宅
 - 13 堀内 鍵曲
 - 14 旧児玉家長屋門

レンタサイクル

1時間200円~350円
 自転車で乗って堀内・平安古・城下町をじっくり見て回りませんか?
 萩城跡方面から
 A スマイル自転車
 B 花の江
 C 城山
 中央公園から
 D 城下町橋部
 E 横山商店
 ※他にも旅館・ホテル等でレンタサイクルがあります。

所要時間 約40分

萩八景遊覧船

● 運航期間 3月~11月 ※天候不良の場合運休
 ● 料金 大人1,200円・小人 600円
 遊覧船のコースは萩城跡横の指月橋をスタートして堀内地区を眺めながら橋本川へ。松並木をくぐりながら外堀に続く新堀川へ。平安古松原を眺めながら平安古地区の旧田中別邸へ。そこでUターンします。日頃の萩観光では見ることのできない自然や景観を満喫してスタート地点へ戻ります。
 ※桜の開花時期には橋本川土手の美しい桜並木を船上から眺められます。
 TEL0838-21-7708

江戸時代の地図と見比べながら 散策しよう!!



「萩城下町絵図」「萩城下町絵図」「堀内マップ」
 200円 620円 無料
 ※萩博物館で発売・配布しています。

堀内・平安古・城下町 おたからマップ

指月山 143m
 指月公園内に登山口あり 約730m 所用時間 約30分

10 萩城跡(城跡)
 萩城跡(城跡)
 毛利輝元公像
 萩八景遊覧船 乗り場

二の丸の銃眼土塀
 塀に四角い穴をあけ、海から侵入する外敵に向けて銃が構えられる仕組みです。

菊ヶ浜海水浴場
 菊ヶ浜入口
 萩看護学校前

かとり もとひこ 楢取素彦(小田村伊之助)
 (1829~1912)
 藩校明倫館に学び、明倫館で指導。松下村塾でも教育にあたりました。明治9年(1876)群馬県の初代県令(現在の県知事)になりました。

女台場(おなごだいば)
 武士の留守を預かる老若男女たちが「自分たちの城下を守ろう」と、菊ヶ浜に土塁を築いた。めったに外に出る事のない武士の妻や奥女中までが参加したことから「女台場」と呼ばれています。

熊谷家住宅(熊谷美術館)
 江戸時代から代々問屋と金舗・仲買・製塩を業として栄えた萩藩の御用商人

21 江戸屋横町
 22 円政寺
 23 木戸孝允旧宅
 24 旧久保田家住宅
 25 菊屋家住宅

26 菊屋横町
 27 高杉晋作誕生地
 28 晋作広場

9 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋
 市内に現存する武家屋敷の建物では一番大きく長さが51m

萩クリスチン殉教者記念公園
 萩城築城時や明治初期に犠牲となったクリスチン信者の殉教碑や墓が並ぶ

11 天樹院墓所
 毛利輝元の墓所。「萩にやん。」のモデルになった猫をかわいがついていたという長井元房の墓もありです。

3 旧益田家物見矢倉
 益田家は、萩藩永代家老で須佐などに領地を持っていました

1 萩博物館
 萩の歴史・文化・自然を学ぶことができる「萩まちじゅう博物館」の中核施設。武家屋敷を模した建築が特徴的です。

24 旧久保田家住宅
 呉服商・酒造業を営んでいた久保田家

27 高杉晋作誕生地
 高杉晋作の幼少期の遊び場

21 江戸屋横町
 22 円政寺
 23 木戸孝允旧宅
 24 旧久保田家住宅
 25 菊屋家住宅
 26 菊屋横町
 27 高杉晋作誕生地
 28 晋作広場

29 旧萩藩校明倫館/萩・明倫学舎
 幕末における長州藩の人材育成に大きく貢献した藩校。現在は、水刺・槍術場の有備館や水泳や水中騎馬の練習が行われた水練池などが残っています。

12 口羽家住宅
 表門は江戸中期の建築で萩城下に現存する上級武士の屋敷としても古く、主屋と表門がセットで残る貴重な文化財。

13 堀内 鍵曲
 左右を高い土塀で囲み、道を鍵の手(直角)に曲げた独特な道筋で城下町などで多くみられる街路の形です。藩政時代の風情を残す一角で時代劇のロケ地としてもよく使われています。

14 旧児玉家長屋門
 道沿いの外壁は白壁、腰はなまこ壁

15 旧田中別邸
 第26代総理大臣・田中義一の別宅

16 鍵曲(堀内・平安古)
 左右を高い土塀で囲み、道を鍵の手(直角)に曲げた独特な道筋で城下町などで多くみられる街路の形です。藩政時代の風情を残す一角で時代劇のロケ地としてもよく使われています。

17 坪井九右衛門旧宅
 藩政に参与し、村田清風と並び称せられる人物で、天保の改革に尽くした。

18 久坂玄瑞誕生地
 久坂玄瑞誕生地

19 村田清風別宅跡
 藩政に参与し、村田清風と並び称せられる人物で、天保の改革に尽くした。

20 平安橋
 平安古の総門跡の外堀に架けられている石橋

13 16 鍵曲(堀内・平安古)
 左右を高い土塀で囲み、道を鍵の手(直角)に曲げた独特な道筋で城下町などで多くみられる街路の形です。藩政時代の風情を残す一角で時代劇のロケ地としてもよく使われています。

14 旧児玉家長屋門
 道沿いの外壁は白壁、腰はなまこ壁

15 旧田中別邸
 第26代総理大臣・田中義一の別宅

16 鍵曲(堀内・平安古)
 左右を高い土塀で囲み、道を鍵の手(直角)に曲げた独特な道筋で城下町などで多くみられる街路の形です。藩政時代の風情を残す一角で時代劇のロケ地としてもよく使われています。

17 坪井九右衛門旧宅
 藩政に参与し、村田清風と並び称せられる人物で、天保の改革に尽くした。

18 久坂玄瑞誕生地
 久坂玄瑞誕生地

19 村田清風別宅跡
 藩政に参与し、村田清風と並び称せられる人物で、天保の改革に尽くした。

20 平安橋
 平安古の総門跡の外堀に架けられている石橋

21 江戸屋横町
 22 円政寺
 23 木戸孝允旧宅
 24 旧久保田家住宅
 25 菊屋家住宅
 26 菊屋横町
 27 高杉晋作誕生地
 28 晋作広場
 29 旧萩藩校明倫館を散策
 ● 「萩・明倫センター」乗車
 ↓ 西回り(晋作くん)で移動
 ● 「萩博物館前」下車
 堀内地区や城下町地区を散策
 ● 「萩博物館前」もしくは「萩美術館 浦上記念館・萩城城下町入口」で乗車
 ↓ 西回り(晋作くん)で移動
 ● 「久坂玄瑞誕生地前」下車
 平安古地区を散策
 ● 「久坂玄瑞誕生地前」乗車
 ↓ 西回り(晋作くん)で移動
 ● 「萩・明倫センター」下車

幕末の志士 ゆかりの地コース

まあーるバスに乗って幕末の志士ゆかりの地を巡ってみましょう!!
 西回り(※晋作くん)コース1周です
 料金: 1回 100円(1日乗車券 500円)

- 29 旧萩藩校明倫館を散策
- 「萩・明倫センター」乗車
- ↓ 西回り(晋作くん)で移動
- 「萩博物館前」下車
- 堀内地区や城下町地区を散策
- 「萩博物館前」もしくは「萩美術館 浦上記念館・萩城城下町入口」で乗車
- ↓ 西回り(晋作くん)で移動
- 「久坂玄瑞誕生地前」下車
- 平安古地区を散策
- 「久坂玄瑞誕生地前」乗車
- ↓ 西回り(晋作くん)で移動
- 「萩・明倫センター」下車

歴史と水の町・平安古を巡る

- 15 旧田中別邸
- 16 鍵曲(平安古)
- 17 坪井九右衛門旧宅
- 18 久坂玄瑞誕生地
- 19 村田清風別宅跡
- 20 平安橋